

荒波煙崖 あらいば 漢詩人、速記者。明治二年八月駿河國生れ、昭和十九年十一月十六日歿（一八七〇—一九五五）。諱坦、字歸愚、通稱巾平。別號清遠居、烟崖、烟崖、烟涯、煙崖、煙崖生等。上京して若林甜藏の速記術を學び、國會開設の際に貴族院に採用せられた。この間蒲生聚亭の有為塾に入り、また田邊松坡、仁香保香城、秋原錦江等と若磯社を結成して詩の研鑽に努め、傍ら文藝館森袖海を學んだ。のち國分書崖を盟首として興社を創設。

著書 『速記獨修』 『日本寫言術』（荒波清彦共著、大正元年十一月十六日隆文堂書店）、『清遠居詩鈔』全二冊（昭和十八年十一月十日無刊館）等。